

令和元年度 第1回推進地域連携協議会

～課題解決型授業(主体的・対話的で深い学び)
に関する調査研究プロジェクト～

令和元年7月9日



旭川市立朝日小学校

令和元年度 課題解決型授業（主体的・対話的で深い学び）に関する調査研究プロジェクト

目的

今後求められる新たな学びである課題解決型授業（主体的・対話的で深い学び）の学習過程・指導方法等確立するため、小・中学校を実践推進校及び連携協力校として指定し、関係機関等の協力を得ながら調査研究を行い、教員の指導力向上を図る。

北海道教育委員

人事配置

- 教員加配
（文科省研修等定数加配）
- 旭川市：2名
- 小樽市：1名
- 帯広市：1名

※ 実践推進校及び連携協力校に調査研究担当教諭を配置

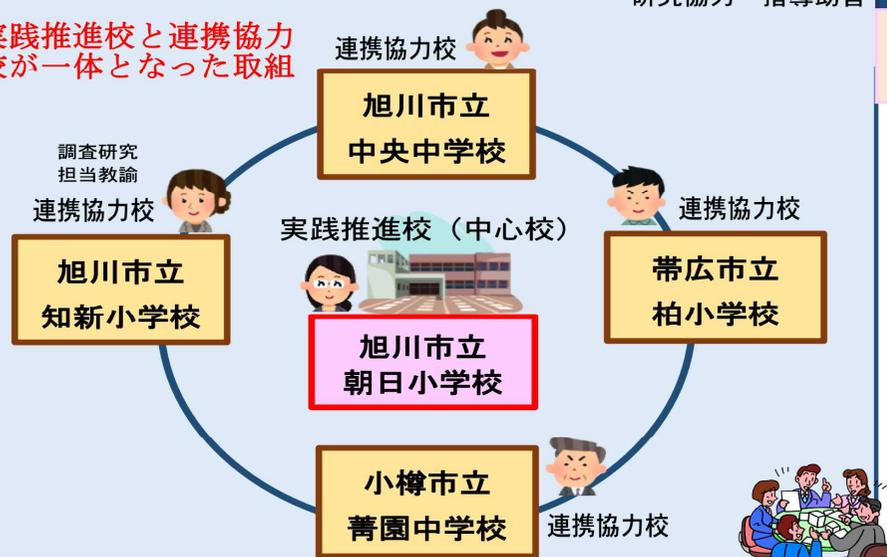
指導・助言等

- 推進地域連携協議会における指導助言
- 広域5校合同研修会における指導助言
- 事業推進に係る経費の執行（地域連携研修促進費を活用）

推進地域連携協議会 （年2回）

構成：学校教育局義務教育課，道立教育研究所，関係教育局，関係市教委，上川教育研修センター，実践推進校，連携協力校（各校担当教員1名），旭川市内高等学校

実践推進校と連携協力校が一体となった取組



- ・ 各校の調査研究担当教諭でプロジェクトチーム「ALPS-W」を組織し，連携して調査研究を推進
- ・ 広域5校合同会議や連携協力校における実践推進校教諭を講師とした研修の実施

調査研究の概要（令和元年度）

「思考アクティブ化シート」を活用した，小・中学校の接続を踏まえた授業改善の推進

【取組の具体】

- 子供が主体の学習づくり
- アクティブ化した子供の思考が途切れないように，思考がつながる授業づくり
- 「1単位時間」と「単元」がつながる単元デザインの工夫
- 子供が，学習の流れや目指すゴールの姿がわかる「見通し」の工夫
- 子供が，自分の立ち位置や学びの成果を実感する「振り返り」の工夫
- 授業改善の日常化を図る



全道の市町村・学校への成果の普及

- I これまでの経過と成果
及び課題について
- II 今年度の研究について
- III 本日の授業公開の概要に
ついて



I これまでの経過と成果及び課題について

見方・考え方をはたらかせて、資質・能力を育成する

主体的・対話的で深い学びの実現

単元マップ

思考アクティブ化シート

H29 子供主体

- 子供の思考の流れを重視した単元デザイン
- 子供自ら学びを実感できる手立て（パフォーマンスシート）

H27 思考を活性化するような意図的なかかわり（指導）

単元レベル
「思考アクティブ化シートA」

一単位時間レベル
「思考アクティブ化シートB
①②③」

子供自ら学びを
マネジメント

全教科

H28

思考アクティブ化シートAの実践
思考アクティブ化シートBの実践
課題B-①, 対話B-②, 活用B-③

「習得的な学び」+「活用的な学び」
思考アクティブ化シートの日常化

H30

ちよいアク

I これまでの経過と成果及び課題について

見方・考え方をはたらかせて、資質・能力を育成する

主体的・対話的で深い学びの実現

単元マップ

思考アクティブ化シート

H29 子供主体

- 子供の思考の流れを重視した単元デザイン
- 子供自ら学びを実感できる手立て（パフォーマンスシート）

H27 思考を活性化するような意図的なかかわり（指導）

単元レベル
「思考アクティブ化シートA」

一単位時間レベル
「思考アクティブ化シートB
①②③」

子供自ら学びを
マネジメント

全教科

H28

思考アクティブ化シートAの実践
思考アクティブ化シートBの実践
課題B-①, 対話B-②, 活用B-③

「習得的な学び」+「活用的な学び」
思考アクティブ化シートの日常化

H30

ちょいアク

子供の思考の流れに沿った深い学び

R01

授業改善の日常化

汎用性
(一般化)

研究成果を発信
(若い先生, ベテランの先生問わず誰でもできる。)

II 今年度の研究について(ALPS-W)

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けての授業改善～



R01

子供が主体の学習

研究内容（1）

「つながる学び」

- アクティブ化した子供の思考が途切れないように、思考がつながる授業づくり
- 「1単位時間」と「単元」がつながる単元デザインの工夫

研究内容（2）

「質の高い学び」

- 子供が、学習の流れや目指すゴールの姿がわかる「見通し」の工夫
- 子供が、自分の立ち位置や学びの成果を実感する「振り返り」の工夫

授業改善の日常化

朝日小の校内研修

R 1.7.9 現在



子供主体

一単位時間

導入

5年「算数」
条件整理

2年「図工」
ふくらむ発想

あさひ
「自立活動」
児童理解と題材

4年「算数」
理由付け

2年「国語」
前時との
つながり

あさひ
「長さ」
既習事項の確認

展開

3年「体育」
ボードによる
視覚化

1年「国語」
自信から
確信へ

あさひ
「自立活動」
対話が生まれる
声掛け

あさひ
「算数」
ICTでつながる

終末

6年「音楽」
自己の学びを
実感する

あさひ2
「国語」
学びの積み重ね

あさひ
「自立活動」
ズレない終末

3年
「外国語」
学びの確認

1年「算数」
生活経験と
つなげる

単元デザイン

子供一人一人の資質・能力

III 本日の授業公開の概要について



赤字は、思考アクティブ化ポイント

子供主体

一単位時間

導入

2年1・2組「国語」
「うれしいことば」
思ア⑧関連付ける

あさひ2組2年「国語」
「うれしいことば」
思ア特③つなげる

6年「総合」
「世界に目を広げよう」
思ア③焦点化する

展開

1年2組「国語」
「好きなこと、なあと」
思ア⑭応用する

4年「算数」
「式と計算」
思ア⑧関連付ける

あさひ1組4年
「算数」
思ア特①比べる

あさひ4組4年
「算数」
思ア特③つなげる

3年1・2組「社会」
「はたらく人とわたしたちの暮らし」
思ア①多面的に見る

5年「総合」
「レッツ！プログラミング」
思ア⑭応用する

あさひ4組2年「国語」
「こんなもの、みつけたよ」
思ア特③つなげる

終末

1年1組「国語」
「好きなこと、なあと」
思ア⑰評価する

子供一人一人の資質・能力

単元デザイン